

## 会報・案内

### 平成16年第6回理事会議事録

日 時：平成16年8月28日(土), 29(日)  
 場 所：28日京王プラザホテル 4F花D 18:00～21:00,  
 29日京王プラザホテル 4F かえで 9:00～13:00  
 出 席：石垣武男, 遠藤啓吾, 大友 邦, 久保敦司  
 隈崎達夫, 杉村和朗, 田村正三, 中村仁信  
 西谷 弘, 早淵尚文, 平岡真寛, 本田 浩  
 松井 修, 山田章吾各理事, 楢林 勇  
 伊藤勝陽(監事)  
 欠 席：宮坂和男理事

#### 議 題

1. 前回議事録の承認
  2. 第64回日医放総会について
  3. 第15回一次・第13回二次専門医認定試験結果の承認
  4. 平成16年度放射線科専門医更新者についての承認
  5. 医学物理士受験資格結果について
  6. 会計について
  7. 日本医学放射線学会検討課題
  8. 代議委員及び役員(理事・監事)の欠員補充について
  9. 日本医学放射線学会誌について
  10. 放射線防護関連について
  11. 各種委員会委員について
  12. 生物部会の報告とお願い
  13. ICRUからの手紙について
  14. AOJRについて
  15. 倫理委員会について
  16. 国際交流委員会
  17. ミオMIBG-I 123 注射液の適応追加に関する要望書について
  18. 専門医認定委員会「専門医研修プログラム作成小委員会」
  19. 各委員会からの報告
  20. 会員名簿について
  21. JRCについて
  22. 会告について
- 9月号 第60回心臓血管放射線研究会のご案内  
 第10回3次元CT・MRI研究会  
 第18回冬季セミナー(案)  
 第16回骨軟部放射線研究会案内(依頼中)  
 放射線科専門医試験第13回一次試験結果  
 放射線科専門医試験第11回二次試験結果  
 平成16年度放射線科専門医更新認定者および追加更新認定者
23. 日本消化器内視鏡学会への要望書について
  24. その他

#### 報告事項

1. 委員会報告  
 編集委員会  
 乳房撮影委員会
2. 治療用線量計校正業務の実施について  
 参考資料  
 第17回 平成16年度優秀論文選考日程(案)  
 平成16年度前半期 新入・退会  
 第15回一次・第13回二次筆記試験問題

#### 議 事：

1. 第5回理事会議事録(案)を承認した。
2. 石垣会長から、資料に基づき第64回日本医学放射線学会総会の合同企画案である特別講演者、合同国際シンポジウム、招待講演、教育講演、等の進捗状況について説明がなされた。会期中の各種表彰式の日程については再度検討する。AOCRの会についてはJRSでアレンジすることが確認された。
3. 第15回放射線科専門医認定一次試験および第13回放射線科専門医認定二次試験結果の承認。8月28日に京王プラザホテルで行なわれた第15回放射線科専門医認定一次試験は、251名受験し、231名を合格と判定した。  
 また、8月28日、29日に行なわれた第13回放射線科専門医認定二次試験は、242名受験し、202名合格と判定したとの報告がなされ、放射線科専門医認定委員会の判定を承認した。
4. 平成16年度放射線科専門医更新者について  
 田村担当理事より資料に基づき説明がなされた。  
 平成16年度更新対象者は449名で今回の更新有効期限は平成21年8月31日まで、平成14年度認定猶予から追加更新認定者3名、平成15年度認定猶予から追加更新認定者5名の報告がありこれを承認した。
5. 医学物理士受験資格結果について  
 平成16年の医学物理士受験者は申請者が130名あり、医学物理士認定委員会において受験資格審査を行った結果129名が受験資格認定者として承認された旨報告がなされた。今年度は10月9日に東京医科歯科大学で試験が行われる予定。また、早淵理事より放射線品質管理士に関する会議は各学会との話し合いが引き続き行われており、中間報告が近日中にだされる予定である旨の報告がなされた。
6. 会計について  
 隈崎担当理事より上半期の会計状況について資料に基づき報告がなされた。収入と支出についての現状、将来の学会財務のあり方、改善すべき点などについて説明がなされた。
7. 日本医学放射線学会検討課題について  
 遠藤理事長より現在学会内で審議の必要がある検討課題について説明がなされ、担当理事の確認と進捗状況について説明がなされた。また、検討課題のひとつである放射線科医の不足について現状を把握する必要があるので調査をしてはどうかとの意見が出された。

## 8. 代議委員及び役員(理事・監事)の欠員補充について

大友庶務理事より代議員及び役員(理事・監事)の欠員が生じた場合の欠員補充について説明がなされた。理事会で検討後学会規約として、1. 代議員に欠員が生じた場合は、当該代議員が所属していた地区の意向等を踏まえて、理事長が理事会の議を経て、正会員の中から委嘱する。2. 理事及び監事に欠員が生じた場合は、当該理事及び監事が選出された選挙の投票結果等を踏まえ、理事長が理事会の議を経て、代議員の中から委嘱する。3. これらの場合の任期は前任者の残任期間とする。の3項目を加えることが承認された。これに伴ない今回防衛医科大学の草野正一君(代議員)が死去され欠員が生じた件につき理事会で引き続き審議を行った結果、関東地方会から推薦された磯部義恵君が代議員として承認された。

## 9. 日本医学放射線学会誌について

継続審議事項である日本医学放射線学会誌について現在出版契約をしている出版社との契約期間が平成18年2月末までなのでその後をどうするかについて意見が出された。インターネットによるオンライン査読、オンラインジャーナルの検討も含め海外の出版社との契約も検討してはどうかとの意見もだされ、次回理事会までいくつかの出版社との契約条件等を調べることにした。

## 10. 放射線防護関連について

中村理事より放射線診断に伴った放射線被ばくに関する検討について報告がなされた。厚生労働省研究・古井班の報告は学会誌へ掲載頂けるようお願いする、また、小児CTガイドライン案については一部検討を加えることにした。また、日本放射線技師会から出された「医療被ばく記録手帳システム」について技師会側と話し合いをおこなった件についても報告がなされた。

## 11. 各種委員会委員について

早淵理事が中心となり検討いただいた各種委員会委員の最終案がだされ、理事会で検討後承認された。(資料1)

## 12. 生物部会の報告とお願い

池田理事より今年度より生物部会が制癌シンポジウムと同時期に生物部会学術大会を開催しその参加状況について報告がなされた。今回4月の日本医学放射線学会総会と開催期間が、春の学会総会と離れた関係からあらたな費用として会場費、及び抄録作成費が発生したため支援金(15万円)をお願いしたい旨の要望がだされた。理事会で検討後これを了承した。

## 13. ICRUからの手紙

ICRUから届いた手紙について池田理事より説明がなされた。ICRUと日医放の関係なども含め池田理事が中心となりどのように対応するかについて検討いただくこととした。

## 14. AOJRについて

松井理事よりAOJRの雑誌発行業務について、日本側で引き受けてもらえるかどうか検討頂きたい旨先方から提案がだされた件について、説明がなされた。理事会で検討後、日本側としてAOJRへの対応も関係してくることなので慎重に検討することが確認された。また実際に受け入れが可能かどうか、編集委員会でも検討いただくこととし、継続審議事項とすることとした。

## 15. 倫理委員会について

山田担当理事より倫理委員会の活動方針について説明がなされた。他学会の活動状況調査結果なども含め日本医学放射線学会としても委員会活動を継続することとし、次回理事会までに各地方会から担当委員を推薦いただくこととした。

## 16. 国際交流委員会について

松井理事より国際交流委員会の検討課題について報告がなされた。日韓放射線科交流については2004年10月の韓国医学放射線学会では日本側から杉本英治君(自治医科大)が教育講演を行い、第64回日本医学放射線学会総会では2名の韓国側講師が教育講演を行うことが決定。ECRについては展示スペースが従来より大きいいため展示内容を検討中、ECR, RSNA, AOQRへの英文パンフレット作成については広報委員会の協力で一部訂正を加え完成したとの報告がなされた。また国際交流委員として大内敏弘君(亀田総合病院)、鳴海善文君(大阪大学)、三原 太君(九州大学)、佐久間肇君(三重大学)の推薦案が出されこれを了承した。

## 17. ミオMIBG-I 123 注射液の適応追加等に関する要望書について

遠藤理事長より厚生労働省宛のミオMIBG-I 123 注射液の適応追加等に関する要望書について説明がなされこれを了承した。

## 18. 専門医認定委員会「専門医研修プログラム作成小委員会」

平岡理事より専門医認定委員会の下に専門医認定試験受験者の研修プログラム作成及び専門医の質的向上を目的とした小委員会を立ち上げたい旨の提案が出された。活動内容、作業等の説明がなされ、小委員メンバーとして中島康雄君、金澤右君(IVR)、本田憲業君(核医学)、早川和重君(放射線治療)、早川克巳君(画像診断: 中枢神経)、村中 光君(画像診断: 腹部)、大野和子君(放射線防護)、笹井啓資君(放射線生物学)、渋谷均君(放射線物理学)の推薦案が出されこれを了承した。

## 19. 各委員会からの報告

健保委員会(遠藤理事)、電子情報委員会、乳房撮影委員会(石垣理事)より活動状況報告がなされた。

## 20. 会員名簿について

本田理事より会員名簿発行作業について資料に基づき説明がなされた。来年4月より個人情報保護法が全面施行となること、また日本医学放射線学会は個人情報データベースを5000件以上取り扱う事業なので個人情報保護法に沿って会員データを取り扱わなければならない、また、他学会の会員名簿作成状況など調査した結果も踏まえて、今年度発行予定の会員名簿は勤務先のみ掲載を進めたい旨の説明がなされこれを了承した。

## 21. JRCについて

JRCの新理事長に隈崎理事が選任され、それに伴ない日医放代表理事に大友理事を推薦し了承された旨の報告がなされた。日医放からの代表理事は遠藤理事、石垣理事、中村理事、久保理事、大友理事となる。

## 22. 会告について

9月号 第60回心臓血管放射線研究会のご案内

第10回3次元CT・MRI研究会

第18回冬季セミナー(案)

第16回骨軟部放射線研究会案内(依頼中)

放射線科専門医試験第13回一次試験結果

放射線科専門医試験第11回二次試験結果

平成16年度放射線科専門医更新認定者および追加更新認定者

## 23. 日本消化器内視鏡学会への要望書について

前回の理事会で審議され、日本消化器内視鏡学会への要望書を提出、その後日本消化器内視鏡学会からの回答内容も含め報告がなされた。放射線科医の消化器内視鏡に関する現状と問題点につ

いて土亀直俊君(熊本県成人病予防協会成人病検診センタ),北川晋二君(福岡大学),坂本力君(公立甲賀病院)から現状報告がなされ,理事会としてもこの件については継続審議事項として対応策を検討することとした。

#### 24. その他

第17回の優秀論文選考については各賞担当の宮坂理事が中心となり選考日程を進めることが確認された。

#### 報告事項

##### 1. 委員会報告

##### 編集委員会

##### 乳房撮影委員会

##### 2. 治療用線量計校正業務の実施について

山田理事より医療用線量測定について校正業務の引継ぎをお願いした医用原子力財団より校正業務内容についての報告があった旨説明がなされた。また日本医学放射線学会とのホームページリンク依頼がだされ了承された。

##### 参考資料

第17回 平成16年度優秀論文選考日程(案)

平成16年度前半期 新入・退会

第15回一次・第13回二次筆記試験問題

・デジタルマンモグラムのモニタ表示と精度管理に関する専門小委員会を作り,実際の検討を行う。モニタは研究班のために借用されているので,これを利用する。(名古屋大学にて評価を行う)専門小委員会委員長には遠藤副委員長が指名された。

・専門小委員会は乳房撮影委員会委員として内山菜智子,植松孝悦,川島博子,角田博子,東野英利子,縄野繁の各委員のほか,石垣班関係から小寺吉衛,藤田広志,池田充,島本佳寿広,佐竹弘子,沢木明子委員,モニタメーカーから西嘉一,林口文衛,前田一哉,井上克己,大橋三男,小林直樹,およびJIRA関係者(代表:榊原俊文)により構成される。

#### 4. その他

・モニタのガイドラインを診断用と参照画像用に分けて作成する。

・日医放の乳房撮影装置使用基準や現在仕様基準をクリアしている機種についての問合せがあるため,これに答えて欲しいという要請があり,乳房撮影委員会として対応する。仕様基準は日医放のHPに,機種は工業会のHPに掲載し,関連学会・団体がリンクするのがよいとの結論となった。

・乳房撮影専門小委員会を8月9日(月曜日)15:30~17:30に開催することとし,関係者に連絡する。

## 平成16年度第1回日本医学放射線学会 乳房撮影委員会議事録

日時:平成16年7月9日 17:00~18:00

会場:名古屋大学医学部放射線医学講座(研究棟8階)

出席者:50音順,敬称略

石垣武雄(委員長),植松孝悦,内山菜智子  
遠藤登喜子,川島博子,角田博子,東野英利子  
縄野 繁

欠席者:石橋忠司,岡崎正敏,小川恭弘,柿崎 大  
築根吉彦,中島康雄

#### 議 事:

##### 1. 新委員会および委員の紹介

平成16年・17年度乳房撮影委員会委員14名,評議員および一般会員からの委員が紹介された。担当理事は2年任期,委員は4年任期で,2年ごとに半数が交代することになっているが,最初の2年で誰が交代するかについては問題があるかもしれないと,議論になった。

##### 2. 副委員長選出

委員長は規約に従い,副委員長に遠藤委員を指名し,遠藤委員が了承し全員が承認した。

##### 3. 今年の活動について

昨年度までの活動により,デジタルマンモグラムハードコピーの評価基準が確立したので,今年度はソフトコピー診断について見当することとした。厚生労働省の液晶モニタ班の研究とリンクして行う。診断的に安全な範囲で画像観察ができる液晶モニタの性能および画像表示条件の最小必要要求基準を示すことが目的である。間接デジタル(デジタイザ)画像に関する評価も合わせて行う。

## 第430回日本医学放射線学会 編集委員会議事録

日時:2004年8月18日 16:00~18:00

出席:久保敦司理事(委員長),本田 浩理事

池田 恢理事,青木茂樹,稲田陽一,植松 稔  
窪田宜夫,竹原康雄,原田潤太,細井義夫  
牧田幸三,道岸隆敏,蓑原伸一各委員

欠席:井上登美夫,笹井啓資各委員

日本医学放射線学会和文雑誌

投稿と査読状況(2004年1月~8月)の報告

平成16年の投稿数は,1月2編,2月4編,3月4編,4月0編,5月0編,6月4編,7月5編,8月2編の計21編,また,投稿受付・手続き中の論文17編のうち,査読結果待7編,再投稿待6編,内容確認待2編,査読者決定・依頼待ち2編であった。

##### 2004年7月号掲載論文の報告

採用論文のうち2編(原著1編,症例報告1編)のほか巻頭言,特別企画 放射線治療学史1編,総説2編,地方会抄録2件を9月号に掲載する。

##### 座長推薦論文の回答状況

座長より推薦された論文数106編のうち投稿意向あり17件,意向なし17件,不明1件であった。

総会学術大会での緊急シンポジウム“診断用のX線がガンを増やす”との論文は真実か?につき,別冊付録の形式で発行を決め現在編集進行中である。

学術大会の教育講演を総説として掲載する件で,執筆承諾は16件,現在7編が入稿した。うちRadiation Medicine誌への掲載は2編。

学会誌の発行について  
平成17年度の学会誌発行については、邦文誌4号、英文誌8号に移行することが報告された。

Radiation Medicine誌英文雑誌  
投稿原稿の現況

Radiation Medicine誌への投稿については、2003年度の投稿数94編に対し、2004年は8月末日現在で74編が投稿された。  
査読状況の報告については、進行状況を確認、了承された。  
採用論文の取り下げの依頼があり、了承された。  
その他  
論文掲載については、倫理規定にのっとった対応が重要だが、どのように対処するかの検討が行われた。今後引き続きの検討を行うことになった。

**第431回日本医学放射線学会  
編集委員会議題議事録**

日 時：2004年10月6日 16:00～18:00  
出 席：久保敦司理事(委員長)、本田 浩理事、青木茂樹  
窪田宜夫、竹原康雄、原田潤太、細井義夫  
牧田幸三、道岸隆敏、蓑原伸一各委員  
欠 席：池田 恢理事、稲田陽一、井上登美夫、植松 稔  
笹井啓資各委員

日本医学放射線学会和文雑誌

投稿と査読状況(2004年1月～9月)の報告

2004年1月から9月までの投稿数は、30編。論文の査読状況は、採用7編、不採用1編、再投稿待ち13編、確認中4編である。

2004年11月号の掲載は、総説2編、原著2編、地方会3編を予定している。その後論文の採用が決まった場合は本号に順次掲載する。

秋季臨床大会の教育講演を「総説」として執筆依頼することを決めた。

来年度の学会誌の発行スケジュールを検討。邦文誌は4号、Radiation Medicine誌は8号を発行する。このため邦文である会告、会報案内の取扱について掲載時期や印刷物の形体などの検討を必要とし継続課題した。

邦文誌は来年(2005年)の4号の発刊をもって廃刊とすることが決まっているが、この状況において投稿論文の急激な減少が予想されるため、その対策として編集委員会で特集企画などの検討を行う。次回の議題とする。

Radiation Medicine誌(英文誌)

投稿と査読状況(2004年1月～9月)の報告

2004年1月から9月までの投稿数は88編。投稿原稿の現況は、2003年受付の論文を含め掲載予定論文は55編、最終審査中4編、再投稿待ち22編、査読中17編、取り下げ1編となっている。

総会学術大会の総説として執筆依頼したPeter Laerum氏より論文が寄せられた。

アジア・オセアニア学会誌(AOCR)よりRadiation Medicine誌とジョイントしたい旨の要望が出されたため委員会で検討を行っ

た。著作権、編集委員の選任や運用などの問題点が挙げられ、ジョイントは難しいとの結論となった。

**第432回 日本医学放射線学会  
編集委員会議事録**

日 時：2004年10月28日(木)12:00～13:00  
場 所：京王プラザホテル『ダリアの間』  
出 席：久保敦司理事(委員長)、本田 浩理事、青木茂樹  
植松 稔、竹原康雄、原田潤太、細井義夫  
蓑原伸一  
欠 席：池田 恢理事、稲田陽一、井上登美夫、窪田宜夫  
笹井啓資、牧田幸三、道岸隆敏

1.平成16年度で和文誌の投稿を締め切るが、平成17年度以降も、暫く、和文誌は継続される為、何らかの企画を考える必要があり、検討した。一つの案として、第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会のプログラムの中から、フィルムリーディングセッションの講師に依頼し、写真及び症例提示を掲載してはとの案が出され、本田 浩理事に当セッションに参加して頂き、掲載依頼の是非について検討してもらう事とした。

2.英文誌「Radiation Medicine」にも、第40回日本医学放射線学会秋季臨床大会の講演の中から、リフレッシュコースの担当者に、それぞれの担当の内容を短くレビューしてもらい、英文で原稿を書いてもらう事が提案され、細部につき検討する事とした。

**第14回日本乳癌画像研究会**

期 日：平成17年2月11日(金)・12日(土)  
会 場：神奈川県民ホール  
〒231-0023 横浜市中区山下町3-1  
TEL：045-662-5901  
FAX：045-641-3184

メインテーマ：「非浸潤癌の画像診断」

参 加 費：医師、メーカー6,000円、コ・メディカル3,000円  
(非会員でも参加可能です。また、当日新規入会も受け付けます。)

申し込み・問い合わせ：

第14回日本乳癌画像研究会当番世話人  
聖マリアンナ医科大学 放射線医学教室 中島康雄  
事務局 印牧義英、小川理絵  
〒216-8511 川崎市宮前区菅生2-16-1  
TEL：044-977-8111(内線3444)  
FAX：044-977-2931  
E-mail：14th-nyugan@marianna-u.ac.jp  
URL：http://www.doc-japan.com/jbci2005